

◆アストロデザイン

次世代高度放送サービス実現に向けて同社が取り組んでいる 8K 技術をはじめ、HDR/WCG、高速デジタルインターフェースソリューションなどの最新機器および最新技術を展示した。

・8K プロダクション：今まで取り組んできた8K 技術をさらに1 歩進めた、より使いやすい8K 製品を紹介した。



8K カメラヘッド

8K SSD レコーダ

55インチ 8K 液晶

「HR-7518」は HQX コーデックを採用することで映像データの扱いやすさワークフローとの親和性を劇的に高めつつ、オリジナルと遜色のない画質を実現した。専用のSSD マガジンは従来同社比で1/8 から1/10 の小型・軽量化を実現。今後ますます増える8K 映像制作の現場を強力にサポートする。

・HDR 対応 4K コンバージョン：信号密度を増やすことなく映像にインパクトを与える技術として注目され、普及した HDR は動画配信の世界では HDR が標準として採用され、映像制作のデファクトになりつつある。一方、カメラなど従来の資産は引き続き活用したい、また既存コンテンツを有効活用したいというニーズもあり、これらを両立させていくかが課題になる。同社はその架け橋となるべく 4K コンバータを新たに開発した。4K/2K の解像度変換、HDR/SDR のダイナミックレンジ変換、ITU R BT-2020/709 の色域変換など映像制作の現場で必要な機能がすべて集約されており、スタジオや中継車などこれからのシステム構築に役立つ。



インターフェースコンバータ

・高速デジタルインターフェースソリューション：8K/4K などの高精細な映像信号をディスプレイ機器に伝送する際のインターフェースとして HDMI や DisplayPort などの規格が提案されている。映像信号の高速化に伴い、こうしたインターフェース規格は継続的にバージョンアップされるが、映像が正しく表示されない、機器どうしの接続がうまくいかないなどのトラブルが発生しがちである。同社の高速デジタルインターフェース製品群はこういったトラブルを未然に防ぐ、あるいはトラブル発生時の迅速な復旧に役立つさまざまな機能、特徴を備えている。



HDMIソーステスタ

HDMIテスタ

【問い合わせ先】

アストロデザイン株式会社 営業本部
TEL:03-5734-6301 FAX:03-5734-6102

◆ネットワークエレクトロニクスジャパン

同社取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。

■Nevion

「テクノロジーとビジネス」を掲げて製品の展示及び提案をした。IP Video 製品のフラッグシップとしてVirtuoso（バーチュオソ）のハードウェア & ソフトウェア新機能を展示。同商品の特徴であるソフトウェア駆動系・メディア・ノード・プラットフォームは共通のハードウェアによる各種HD/4K/8K ビデオフォーマットとエンコード、デコード方式やアナライザー・モニター、リダクションなど機能拡張、技術進化に対応し陳腐化しやすい最新技術トレンドを継続可能なビジネスに適応するプラットフォームを提案。またバージョンを重ねたVideoPath（ビデオ・アイパス）V5メディア・ノード管理ソフトウェアシステムがLAN（単一設備IP）とWAN（コントリブション、リモートプロダクションIP）の境目を意識しないシステムでビジネス的な有効性をアピールした。



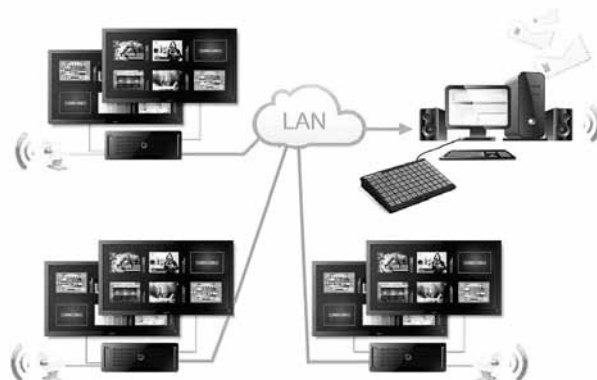
■Bridge Technologies

IP ビデオ・コンテンツ・エクストラクター、IP ビデオストリーム最大100ch リアルタイムモニター監視可能なサーバーソフトウェア、ビデオウォールビューアー機能が展示された。またコンパクトなオールインワンタイプのIP ブローブNomad（ノマド）も展示した。



■Stream Labs

Windows サーバー用ソフトウェアベースのIP オーディオ&IP ビデオマルチフォーマットビデオマルチビューアーを展示。オーディオ、ビデオ信号の品質監視と多チャンネル入力のリモートモニター切り替えが可能な拡張性に富んだマルチモニターシステムを提案。



【問い合わせ先】

ネットワークエレクトロニクスジャパン株式会社
TEL:03-5542-3260 www.network-electronics.co.jp

◆オタリテック

同社取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。

■LAWO :

新しいブロードキャスト・デジタルオーディオ・コンソールのフラッグシップモデルが NAB2017 で初披露された。完全なIP 接続をベースとし、ブロードキャスト・映像の現場に最適なパフォーマンスを提供する。大きな規模でのフォーマットでのミキシング、ルーティング、エンジニアがサウンドメイキングに集中できるための革新的なミックスアシスト機能など、音声における高いインパクトを視聴者に与える。

■Riedel Communications :

新しいワイヤレス・インカム・システム「ボレロ」が発表された。4ch ワイヤレス方式を採用し、親機までの系統をAES67 で接続。ベルトパックには高解像度のTFT タッチパネルを搭載。先進的なGUI でストレスのないスムーズなコントロールが可能である。さらにユーザーフレンドリーな機能も多く備え、各ベルトパック間でダイレクトな通話が可能なトランクモードを搭載。ベルトパックの外観デザインはデスクトップでの設置も可能なものになっている。また、ラックマウント可能な先進的なデザインのバッテリーチャージャーも魅力のひとつ。

■GENELEC :

すでに多くのユーザーを抱えている次世代型モニタリング・システム、オートキャリブレーション機能を搭載したSAM (Smart Active Monitor) を出品。専用マイクを使い設置場所の音響特性を測定、スピーカー内蔵のDSP で音質補正を自動で行うことのできるSAM システムは移動の多い現場や中継車などの限られたスペースでの良いモニタリング環境構築に有用なシステムである。

■そのほか、音声制御の自動化”Smart Audio”を掲げ高品位なレベル制御プロセッサを展開するJunger Audio 社、テレフォンハイブリッドの AVT (Audio Videotechnology) 社、IP57 の高い防水防塵レベルと360 度曲げることができるブームが特徴のヘッドセット/ラベリアマイクを有するPointSourceAudio 社が出展。

【問い合わせ先】

オタリテック株式会社

TEL : 03-6457-6021 www.otaritec.co.jp/

◆オーディオテクニカ

新製品ではアナログHD ワイヤレス「6000 Series Wireless」を、また既存品では「BP40」、「System 10 Camera mount/ System 10 family」、「AT8024 USB Mics」、「Stereo Mics Shotguns/ Lavaliers (Handled w/Fred Ginsburg and his sound cart) Headphones」などを出品した。

【問い合わせ先】

株式会社オーディオテクニカ

TEL : 03-6801-2010 FAX : 03-6801-2019

◆テクノハウス

同社取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。

■Evertz

IP 関連製品に関して業界をリードするevertz では、新たなSDVN 製品や、プライベートもしくはパブリッククラウドと「OvertureRT LIVE VM」を使用したプレイアウトソリューションの紹介、ビッグデータ分析エンジン「inSITE」、HDR/SDR 変換を含む12G-SDI 対応製品、IP ベースのリプレイシステム「DreamCatcher」、25Gbe 対応製品などを展示した。

■AVIWEST

コンパクトな 1/2RU の筐体で低遅延かつ低ビットレートで IP 経由でライブビデオコンテンツを配信可能な Ultra HD HEVC ライブエンコーダー「HE400Q」や SIM タイプのライブ中継用トランシーバーの最新型「DMNG PRO180+」を展示した。

■BW Broadcast

現行のトランスミッターシリーズに加えて、FM トランスミッター「V3」を発表した。

■Convergent Design

4K RAW 収録が可能な「Odyssey7Q+」、4 つの HD-SDI を同時収録可能な「Apollo」、4K/UHD から 3 つの HD を生成出来る「Titan」オプションを展示した。

■DEVA BROADCAST

新製品のデュアル FM レシーバー「DB4402」他を展示した。

■Ensemble Designs

手のひらサイズのコンパクトな製品「Bright Eye」シリーズから「NXT9xx」を展示。1RU で最大 12 系統のフレームシンクロナイザーの機能を提供する製品である。

■Sonifex

AES67 対応インカムシステム「AVN」シリーズを展示した。

■Video Clarity

SMPTE2022-6/7 に準拠した IP の入出力に対応した画質評価装置「ClearView IP」や記録再生用機材「ClearView Player IP」、最大 8 つの HD または 2 つの UHD 出力を持つ初のエンターテインメント市場向け製品「ClearView Venue Player」などを展示した。

なお、現地では同社スタッフが製品の案内を行った。

【問い合わせ先】

株式会社テクノハウス

TEL: 03-3553-8061 FAX: 03-3553-8064

◆**朋 栄**：「FOR-A World of Possibilities（無限の可能性に向けて）」をテーマに掲げ、Video over IP や 12G-SDI、HDR や広色域といった先端技術展示をはじめ、映像制作に欠かせない各種製品を7つのエリアに分けて展示した。

1. カメラステージエリア：フル4K 高速度カメラの「FT-ONE シリーズ」を用い、高速度撮影の実演デモンストレーションを行った。

■フル 4K 高速度カメラ：「FT-ONE-LS-12G」(新製品・世界初公開)
「FT-ONE-LS」の 12G-SDI 出力対応モデル

■HD 高速度カメラ：「VFC-7000A」(新製品・世界初公開)
小型高速度カメラ「VFC-7000」後継モデル

■フラッシュ光増補装置：「RFC-ONE」(新製品・世界初公開)
記者会見等のフラッシュ光を画像処理でリアルタイムに軽減

■フリッカーコレクタ：「FC-ONE」(新機能追加)
「FC-ONE」に 2 チャンネルオプションが追加

2. IP/12G-SDI エリア：Video over IP 関連製品と 12G-SDI 関連製品を一堂に展示。

<Video over IP 関連>

■IP ゲートウェイ：「USF-10 IP シリーズ」(新製品・NAB 初展示)
各種 IP 規格に対応したゲートウェイモジュールをはじめ、IP と 12G-SDI の相互変換が可能なモジュールを展示

■HEVC/H.265装置：「IP-HE950」[Fujitsu社] (新製品・NAB初展示)
米国での総販売代理店である富士通製品から HEVC/H.265 対応のエンコーダ / デコーダをはじめ各種製品を展示

<12G-SDI 関連>

■12G-SDI 対応ルーティングスイッチャ：「MFR-4000」(新製品・NAB 初展示)

わずか 6U の筐体で 72x72 の 4K ルーティングを実現

■12G-SDI 対応マルチビューワ：「MV-4000 シリーズ」(新製品・NAB 初展示)

多機能・高性能が好評のマルチビューワが 12G-SDI に対応

■12G/3G コンバータ：「MFC-2GB」(新製品・NAB 初展示)
12G-SDI と Quad-Link 3G-SDI の相互変換装置

■12G-SDI 対応ビデオサーバ：「MBP-1000VS シリーズ」(新製品・世界初公開)

マルチチャンネルビデオサーバとして好評の「MBP-500VS」がグレードアップ

■12G-SDI 対応信号発生器：「ESG-4100」(新製品・NAB 初展示)
カラーバーをはじめ、各種テスト信号を生成、12G-SDI 出力

3. 4K プロダクション / HDR エリア：4K 対応製品を組み合わせ、システムとして展示。また、HDR 制作に向け、各種プロセッサも展示した。

<4K プロダクション>

■ビデオスイッチャ：「HVS-2000」「HVS-100」

<HDR 関連>

■マルチパスシグナルプロセッサ：「FA-9600」(新製品)
4K、12G-SDI、HDR、広色域のすべてに対応した最新のプロセッサ

■マルチチャンネルシグナルプロセッサ：「FA-505」
HDR/SDR 相互変換など、多彩な機能を搭載

■モジュラー製品：「USF シリーズ」

アップ / ダウン / クロスコンバータなど各種モジュール製品を展示

4. ライブプロダクションエリア：コンサートやライブイベントなどの現場で活躍する映像機器をシステム展示した。

■ビデオスイッチャ：「HVS-490」(新製品・NAB 初展示)

4K 対応ビデオスイッチャ。「HVS-390HS」後継モデル

■ビデオスイッチャ：「HVS-2000」

■ビデオサーバ：「Insight Server」[Odyssey 社]

5. ビデオスイッチャエリア：4K プロダクションやライブプロダクションエリアとは別にビデオスイッチャの展示エリアを用意した。

■ビデオスイッチャ：「HVS-2000」、「HVS-490」、「HVS-100」など

■キャラクタジェネレータ：ClassX 社製品 [ClassX 社] (NAB 初展示)
米国での総代理店契約を締結、HVS シリーズと組み合わせたシステム展示

6. バーチャルシステムエリア：各種バーチャル関連機器を展示。

■バーチャル / RCG システム：「VRCAM2」+「SmartDirect」(仮称・世界初公開)

VRCAM に SmartDirect の機能を融合。バーチャルと RCG いずれの運用も可能なオールインワンバーチャルシステム

■シンプルバーチャルシステム：「HVS-100」+「HVS-100TB2」+「InfinitySet」

ビデオスイッチャと Thunderbolt2 ケーブル 1 本でバーチャルシステムを実現

■アドバンスド 3D クロマキーヤ：「ACK-3000」(新機能追加)

クロマキー合成する被写体に 3 次元の影を自動生成、使いやすい各種機能を追加

7. ファイルベース / フレームレートコンバータ / フローベルエリア：アーカイブ関連製品のほか、フレームレートコンバータ、フローベル社の 4K 連結カメラ等を展示した。

<アーカイブ関連>

■LTO サーバ：「LTS-70」

単体での展示のほか、遠隔地へ高速ファイル伝送が可能な 4K 素材伝送システムをあわせて展示

■LTO ビデオアーカイブレコーダ：「LTR-200HS7」

<フレームレートコンバータ>

■フレームレートコンバータ：「FRC-9000」

■フレームレートコンバータ：「MCC-4K」(新製品・世界初公開)
リーズナブルながら高精度なフレームレート変換を実現

<フローベル製品>

■「FDM-12K」[Flovel 社] (参考展示)

4K カメラ 3 台を連結し、広視野角かつ高精細の映像を撮影可能
このほかにも多数の新製品・新オプション・新機能を紹介した。

【問い合わせ先】

株式会社朋栄 営業統括本部

TEL：03-3446-3121 FAX：03-3446-4451

e-mail：sales@for-a.co.jp

◆ヴィレッジアイランド

同社のパートナー企業各社では、以下の製品を出品した。

「ビデオシステムとコンテンツマネージメント」

■SAM (Snell Advanced Media)

12G対応 4K,HDRコンバータ 「12G Kudos Pro UHD 1000UHD」
12G-SDI 対応ルーティングスイッチャー「SIRIUS Router I/O」
12G 入力マルチビューワ「MV-820 12G」
SMPTE-2022-6 対応マルチビューワ「MV-805」他

■Quales.TV

低価格・高品質な映像画質・音声自動評価ソフト
「Quales (クアレス)」は、4Kを含むほとんどのフォーマットに対応した映像画質・音声自動評価ソフトで、フリーズや無音を自動検出する。保存用に再エンコードしたファイルの品質チェックにも最適。
また、クラウドにも対応している。

■Dalet Digital Media Systems

「DALET AmberFin」: 高品質トランスコーダ (Workflow,HEVC 対応)
「DALET BRIO」: IT 機器をベースにした低コストマルチチャンネル I/O プラットフォーム。オール IP (SMPTE-2022-6)・IP(2022-2)/ ベースバンドへの移行時に柔軟に対応が可能。

■BarnFind Technologies AS

「BarnMini-11」 12G-SDI と光インターフェースのコンバータ。
(12G-SDI,10GbE,SFP,4K 対応)
「BarnOne」: 光ルーティング機能を備えた 1U サイズの CWDM 光多重伝送装置。

■intoPIX



VILLAGE island VICO-4

ヴィレッジアイランド社製「VICO-4・VICO-8 TICO SDI コンバータ」を展示。ビジュアルロスレス方式4:1 圧縮のコンバータボックスで、TICO 圧縮を使用することで低遅延伝送を実現した「VICO-4」はIPでなく、あえて現場の意見を重視した3G-SDI 同軸ケーブルインターフェースを採用し、BarnFind と組み合わせた光コンバータや、ベースバンドルーティングスイッチャーとの連携が可能で拡張性が高い。

「OTTおよびCDN、デリバリー」

■Sencore/Wellav

HEVC@4K エンコーダ、デコーダ
SDI over IP コンバータ「JPEG2000」「SMPTE2022-6」

■Harmonic

「VIBE シリーズ 4K」及び OTT 向け新型エンコーダ
OTT 向けには、H.264 の映像品質を 50% 向上させることが可能な Eye-Q の技術や、クラウド配信プラットフォームの展示。4K 向けには、HDR 対応の最新エンコーダを展示。

■Witbe

QoE (Quality of Experience) 評価ロボット
スマートロボットを使い、エンドユーザ (スマホなど) における映像品質のチェックを自動化する。

■Skyline

ネットワークマネージメントシステム
「Dataminer」は、衛星放送受信用サテライト設備のリモート監視・制御など世界中で実績があり、国内でも採用されている。

■DekTec Digital Video

「DTA-2179」12ポート 3G-SDI/DVB-ASI 4K対応(2SI/SQD)の入出力カード。「DTA-2174」クアッド対応 3G-SDI/DVB-ASI 4K



DekTec DTA-2174

対応の2SI/SQD 入出力カード。「DTA-2131」マルチスタンダード VHF/UHF レシーバー、ISDB-T、QAM の復調に対応、DVB-T2 / C2、ATSC3.0 の計測に対応している。

「DTA-2115B」ハイエンドマルチスタンダード変調ボード、衛星波を除く最大8波まで同時変調が可能。

付属の再生ソフトウェアによりATSC3.0,DVB-T2/C2 対応の万能な試験信号発生器になる。

「DTU-351」USB 3.0 インターフェースを備えたHD SDI 入力アダプター。ソフトウェア「SdEye」と組み合わせれば、ラップトップ PC ベースのリアルタイムSDI ウェブフォームモニターとなり、Ancillary Data 解析にも対応する。

「VF-REC v3.0」GPU (AMD,NVIDIA) を使い、3G-SDI x 4 入力 (4K) をJPEG2000 圧縮し、記録再生が可能。

■Digigram

プロスペックのサウンドカード
24bit AES/EBU Balanced XLR Broadcast Digital Audio Sound Card や EtherSound など高品質カードを OEM 提供する。

■Broadpeak

大幅なコストダウンを可能にする自営 CDN を提案した。Broadpeak 社、独自のキャッシュテクノロジー (nano CDN, umbrella CDN) により CDN の最適化が実現できる。
また、CDN Diversity 技術を組み込むことにより、複数の CDN をリアルタイムに切り替える冗長性をも実現可能。

【問い合わせ先】

株式会社ヴィレッジアイランド

TEL : 03-6409-6206 FAX : 03-6409-6207

◆東通インターナショナル

同社取り扱いメーカー各社では、以下の製品を出品した。

■ **Vidcheck** : Telestream 社の傘下に入ったVidcheck のQC (品質検査) 製品はファイル化された映像/ 音声の品質管理を行う自動QC ソフト。ファイル構造の検査や修正、マクロノイズ・ブラックレベル・クロマレベル・RGB ガマット・ブラックフレーム・フリーズフレーム等のビデオの検査、位相・レベル・ラウドネス・ビットレート等のオーディオの検査に加え、アニメで問題になったフラッシュフレーム光過敏性発作(PSE)の検査や修正も可能。検査後のOK ファイル、NG ファイル、修正ファイルは別々に指定したフォルダに自動転送することができる。4K、HEVC/H265 を含む多くのコーデックに対応。Telestream のトランスコーダVantage のオプションとしても展示した。

■ **Renegade Labs** : 3G-SDI 入力、ダウンミックス可能なオーディオモニタリングセレクト M3G および編集室用オーディオミキサ M16 に AES67 対応のオプションを加えて展示した。また、3G-SDI の 2 入力ボードオプションを発表。

■ **MOG Technologies** : インジェストとファイルフォーマット変換製品の SpeedRail の展示。多くのコーデックに対応し、ハイレゾリューションとプロキシに対してそれぞれ 2 種類のラッパーを選択することができ、トータル 4 つのファイルを同時に作成することが可能。

■ **Image Video** : インテリジェント・タリ制御システムは放送局やプロダクションシステムに欠くことのできない製品である。ルーティングスイッチャーやプロダクションスイッチャーの信号の流れをトレースし、その用途から本線/ 収録タリ、プリセットタリ、スロー収録タリ等、リエントリーを含む複雑な条件設定を専用の GUI から簡単に行う事ができる。素材モニタやマルチビューワへの UMD (素材名称) とタリ制御を一元管理でき、番組単位の条件設定も容易。

■ **Cineflex** : 空撮用カメラ防振装置。放送、警察、各種自治体で最大のシェアを誇る。

【問い合わせ先】

株式会社東通インターナショナル

<https://www.totsu-int.co.jp/index.html>

◆グラスバレー

ライブプロダクション、ニュース、コンテンツデリバリー、ネットワークキングといった各エリアにおける“Content Your Way”を実現するための各種ソリューションを中心としたデモンストレーションとともに、フルラインナップの製品群を紹介。

SDI/IP ネットワーキング、4KUHD、HDR やスーパースローモーションなどに対応した同社の最新製品により、コンテンツが必要とされる場所、デバイス、時間といった要件に合わせた最適な制作、コントロール、配信環境を提供する。

《ライブプロダクション》Better than being there

■ **LXD 86N** カメラシステム

新開発のUHD(3840x2160)3CMOS センサーを搭載した「LXD86

シリーズ」の最新システムカメラ。2/3 インチ B4 レンズマウントを持ち HD/3G、HD3 倍速/6 倍速、4K にネイティブ対応、DPM Ultra テクノロジーにより従来と同等のHD/3G パフォーマンスを実現する。SMPTEST2084(PQ) とHLG の両HDR 方式や ITU-RRRec.BT.2020 色域をサポートし、「LXD 86 シリーズ」と同様に SMPTE ST 2022-6 IP 対応ベースステーションやGV-eLicense によるソフトウェアアップグレードが利用可能。また、Direct IP ライセンスによりカメラとベースステーション間を COTS IP スイッチとIP ネットワークで接続したリモートプロダクションも可能になった。

■ **K-Frame V-series** ビデオプロダクションスイッチャー

現行のすべてのグラスバレー製スイッチャーコントロールパネルと組み合わせが可能な新ビデオプロセッサフレーム「K-Frame V-series」は、3RU のコンパクトなフレームに最大3M/E+2VPE (ビデオプロセッサエンジン)、20 フルキーヤー、2DDPM、32GB イメージストア、RAM レコーダー、32x16 I/O 等のパワフルな機能を搭載し、SDQS/2SI 両方式の4K 制作にも対応する。オプションのDPM モジュールによるiDPM(2D/3DDVE) 機能の他、IPI/O ボードにより SMPTE ST 2022-6、VSF-03/04 にも対応予定。

■ **K2 Dyno** リプレイシステム

6 倍速、4K に最適化された「K2 Dyno リプレイシステム」は、ハイレームレート映像におけるライブプロダクションにおいても様々なカメラポジションのリプレイを可能にする。最新バージョンではDyno コントローラーで作成したプレイリストのMXF エクスポート機能、クリップのタイムコード付替、アンシラリデータの付与設定等が搭載されている。

《ニュース》Stories as they happen

■ **Ignite** プロダクションオートメーションシステム

報道や制作の現場において放送に関わる各システムを統合的に制御することが可能なソリューション。スイッチャーから入力ソースの切り替え、マルチビューワの映像切り替え、報道システムと連動したプログラムの制御に至るまで、グラスバレーが提供する各システムをオールインワンでコントロールできる。

■ **GV STRATUS** ビデオプロダクション & コンテンツマネジメントシステム

報道やスポーツ中継等様々なワークフローで活用できる、フルセットのアプリケーションフレームワーク。編集サーバー内にあるアセット管理が可能で、素材情報、マーカーなどのメタデータの入力が可能。カメラマン、記者、エディターなど、役割に合わせた使用環境(権限)を構築することもできる。EDIUS でテンプレートからのプロジェクト作成、既存プロジェクト内にあるシーケンスやアセットをダイレクトに編集可能な為、更に効率よく編集業務のワークフロー環境を構築することができる。バージョン5.0 以降からの最新機能ではK2 のクォータ制御、EDIUS からのシーケンスマーカー連携、EDIUS からアーカイブアセットのリストア等様々な機能を搭載している。

■ **EDIUS 8.5**

「EDIUS 8」にさまざまな新機能を追加した最新バージョンを出展。Log 素材 や HDR エディティングに対応したプライマリーカラーコレクションのアップデートをはじめ、ユーザーからのフィードバックをもとに、さらなる表現力と効率化の向上を果たす。

《コンテンツデリバリー》Connect and Monetize

■ iTX On-Demand インテグレートドブレイアウト

「iTX On-Demand」はビデオオンデマンドのコンテンツのパッケージ化を効率化するグラスバレーの新しいソリューション。収録中の映像ファイルから並行して処理することでコンテンツ処理時間を軽減し、ビデオオンデマンド各プラットフォーム向けにワークフローを自動化する。既に収録済みの番組でも、事前にパッケージ化し転送させておく機能も搭載している為、都度待機時間も軽減できる。インジェストからクオリティコントロール、コンテンツ管理、オーディオ・ビデオプロセッシング、グラフィックスやサブタイトル、オートメーションといったブレイアウトに必要な機能を搭載した iTX Playout やサードパーティソリューションとも連携が可能。

■ iTX Integrated Playout インテグレートドブレイアウト

マルチフォーマット、マルチコーデック対応した最新世代のビデオサーバー「iTX Integrated Playout」は、4K や SMPTE2022-6 対応の IP インターフェイス搭載モデルをラインナップしている。一つの筐体で 4K と IP の入出力を設定できるだけでなく、システム間におけるインジェスト、アーカイブ、QC、コンテンツ管理、送出制御、グラフィックやトランスコード等様々な役割として使用できる。

《ネットワークング》Build a Solid Foundation

■ GV Node リアルタイム IP プロセッシング & ルーティングプラットフォーム

「GV Node」はリアルタイムの IP プロセッシングとルーティングが可能な SDI と IP SMPTE ST 2022-6 双方のブランキングスイッチおよびクワイエットオーディオスイッチングに対応した次世代ルーティングプラットフォーム。1 ノードあたりベースバンドと IP の双方で 144x144 ビデオと 2304x2304 オーディオをサポートし、ノードを増設することでスケラブルに拡張することが可能。TICO コーデックにより 4K1 ワイヤー伝送にも対応、モジュラー構成により IP I/O、SDI I/O、マルチビューワーモジュールを実装可能で、Densité シリーズの各種プロセッシングモジュールもサポートしている。

■ GV Convergent IP ルーターコントロール & コンフィギュレーションシステム

COTS IP スイッチとの組み合わせによる IP ルーティングに対応した新世代のルーターコントロールシステムで、SDI ルーティングスイッチャーのコントロールパネルを使用して IP と SDI 双方のルーティングを可能にする。「GVNode」と共にグラスバレー Glass-to-Glass IP ソリューションのコアとなる製品で、COTS IP スイッチ、SDI ルーティングスイッチャーや IPG-3901 IP/SDI ゲートウェイを包括制御し、SMPTE ST 2022-6 HD/3G や TICO コーデックを使用した 4K1 ワイヤーによる運用を可能にする。

■ Cisco IP ファブリック

グラスバレーではブロードキャストデータセンターの重要な構成要素である IP ファブリック部分のパートナーとして NAB 2016 にてシスコ社とのパートナーシップ契約を発表し、IBC 2016 にてその範囲を大幅に拡張することに合意した。これによりグラスバレーから IP スイッチを含むシステムソリューションとしてユーザーへ提供することが可能となり、コンサルティングから販売、設置調整、トレーニング、サ

ポートまでの一貫体制で IP 化を推進する。

《その他の出展製品》

■ mync メディアファイル管理ツール

コンテンツの取り込みから管理を効率的に行える新しいパーソナルコンテンツ管理ソフトウェア。各種ビデオフォーマット、オーディオ、静止画の取り込み、プレビュー、メタデータ付与に至るまで一元的に管理が可能。編集作業における作業時間の短縮を目指し、デバイスを意識することない一括取込機能、設定条件でリアルタイムに反映されるスマートカタログ、シンプルな編集を追求したストーリーボード、EDIUS で搭載されているドラフトプレビューも標準搭載されている為、あらゆるタイプのユーザーやワークフローに対して、新たなビデオ編集の価値を提供する。

《編集・送出用サーバー》

■ K2 Summit 3G プロダクションクライアント

マルチフォーマット、マルチコーデックに対応した最新世代のビデオサーバーで、DVCPRO HD をはじめ、XDCAM HD422、AVC-Intra での収録 / 再生に対応。新たに SMPTE2022-6 対応の IP インターフェイス搭載モデルがラインナップされ、従来からのベースバンド SDI と IP を併用したシステムアップにも柔軟に対応する。

■ K2 Central TX ハイパフォーマンスシェアストレージ

K2 ファミリーの技術を継承したミッドレンジのストレージソリューション。費用対効果に優れた比類なきパフォーマンスと容易なイーサネット接続構成で、複数の EDIUS ターンキーをクライアントとした中規模クラスの編集システムを構築することが可能。

【カンファレンスセッション】

期間中、同社各製品担当者が以下のカンファレンスにスピーカーとして登壇した。

- ・ 4 月 25 日 10:00-10:30: Klaus Weber, シニアプロダクトマーケティングマネージャー(カメラ) The Dynamic Duo - SDR and HDR-Compatible Workflows for Live Production
- ・ 4 月 25 日 11:00-11:30: Mike Cronk, コアテクノロジー担当バイスプレジデント A Model for the Design of IP Based Live Production Systems with Low Latency
- ・ 4 月 25 日 16:00-16:30: Sara Kudrle, プロダクトマーケティングマネージャー(ネットワークング) ; Robert Erickson, IP エバンジェリスト IP Video: What Have We Learned So Far?
- ・ 4 月 26 日 14:30-15:00: Sara Kudrle, プロダクトマーケティングマネージャー(ネットワークング) ; Chuck Meyer, プロダクション担当 CTO IP - It's About Time

【パビリオン】

期間中、IP ショーケースパビリオンに AIMS (Alliance for IP Media Solutions) メンバーの一員として参加した。同パビリオンでは、AES, AIMS, AMWA, EBU, IABM, MNA, SMPTE, VSF 各団体のサポートにより、最新の IP 技術や業界としての統一見解、進むべく方向等の情報を提供した。

【問い合わせ先】

グラスバレー株式会社

TEL: 078-366-2211

◆タックシステム

自社ブース出展のほか、同社の取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。



■ Tac systems

MADI接続により非常にフレキシブルな対応が可能なスタジオ・モニター・コントローラ「VMC-102」の最新バージョンを発表。

■ Adder

現在最も信頼性とパフォーマンスの高いKVMシステムの老舗とされる英国ADDER社。8系統のUSBマウスによる自動切り替えを可能にする「CCS-PRO8」および、8対8までの廉価版IPベース簡易KVMマトリクス「XD-IP」を発表。

■ Decimator Design

コンパクトでオーディオ・メーター表示など多機能な HD-SDI コンバーターおよび HD-SDI 16 入力までのマルチビューワーを展示。

■ Directout Technologies

MADI 関連インターフェイスとして、定番となったドイツの Directout Technologies 社。双方向の MADI サンプリングレート・アップダウンコンバーター「MADI.9648」を発表。

■ Eventide

米国オーディオ・プロセッシング・メーカーの老舗といえる Eventide 社。3月にリリースとなった新しい Structural Effects 機能を搭載した「FISSION」を展示。

■ iZotope

ノイズリダクション、オーディオ・リペアー用のソフトウェアとして今や定番となっている「RX」の最新情報を発表。

■ JL Cooper Electronics SONY9PIN、MIDI など各種リモートコントローラおよび Black Magic Design 社の ATEM をリモートする小型スイッチャーパネルを展示。

■ Muxlub

6系統の SDI を Fiber1 本で延長する Extender や、4K 映像を IP ベースで伝送する AV over IP 関係の製品を展示。

■ NTP Technology

Analog/ AES/ MADI/ Dante/ HD-SDI という豊富なインターフェイスとルーティング機能を持つ Penta シリーズおよび AX-32 を展示。

【問い合わせ先】

タックシステム株式会社

TEL:03-3442-1525 FAX:03-3442-1526

◆リーダー電子

4K 波形モニター「LV5490」・シンクジェネレータ「LT4610」・ラスタライザ「LV7390」・ポータブル波形モニター「LV5333」に新機能を搭載した。新オプションにより、機能が充実した製品を展示する。

「LV5490」は、4K 12G/4K 3G クワッドなどに対応したモニターであるが、カメラノイズメーターオプション「LV5490 SER10」を追加して、カメラの SDI 信号に含まれるビデオノイズの測定を可能にした。入力された SDI 信号から得たデジタルデータをアナログ変換せずにフルデジタル処理でノイズを測定するため、高精度・高安定な測定を行うことができる。4K 対応のノイズ測定は世界初。



「LV 5490」

シンクジェネレータ「LT4610」に 12G-SDI オプション「LT4610 SER02」を追加し、4K 12G-SDI や 4K 3G クワッドでカラーバーや自然画が出力可能になった。



「LT 4610」

ラスタライザ「LV7390」は、4K オプション「LV7390 SER20」を追加し、4K フォーマットに対応した。3G-SDI のクワッドリンクなど、各種 4K 映像フォーマットのビデオ信号に対応している。HDR ゾーン表示、HDR 波形表示も可能。また、操作面では、好評のフリーレイアウト機能が更に進化したエンハンスト



「LV 7390」HDR ゾーン表示

レイアウト機能が追加され、任意のチャンネルの拡大表示や全ての表示アイテムをそれぞれ自由に配置することが可能である。

ポータブル波形モニター「LV5333」は、HDR 対応オプション「LV5333 SER02」を追加して展示する。バッテリー駆動可能なポータブル機で HDR ゾーン表示や HDR のスケールによるレベル管理ができる。他に新製品の「LT4610」用チェンジオーバー「LT4448」などを展示する。

【問い合わせ先】

リーダー電子株式会社

<http://www.leader.co.jp/>

◆伊藤忠ケーブルシステム

同社取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。

■ Facilis Technology

共有ストレージ「TerraBlock」のソフトウェアを一新する Version 7.0 をリリース。ハードウェア新製品として、既存比最大 2 倍のパフォーマンスを発揮する「Hub Server」と、冗長化モデル「8D-R」を

発表した。

■ Lasergraphics

「Director10K」: 35mm～8mm フィルムに対応し、10K スキャンデータ生成。カラー及び B&W フィルム対応した 3 フラッシュ HDR 機能、DICE 機能を使用したディフェクト・マツト出力。

「ScanStation」: 35mm～8mm まで対応し 30fps で 5K スキャンデータ生成可能。2 フラッシュ HDR オプションを参考出展。

「ScanStation Personal」: 従来モデルに加え 5K-16mm/2.5K-8mm モデルを発表。「Metastore」40GbE 対応高速 NAS。

■ IHSE

「486 シリーズ」に待望の SDI Extender が登場した。LAN ケーブル 1 本で、3G-SDI を 140m まで延長する事が可能。更に従来の KVM システムとの組み合わせで、HD-SDI 信号を PC ディスプレイに表示したり、PC 信号を SDI モニターで表示する事ができる。

【問い合わせ先】

伊藤忠ケーブルシステム株式会社
<https://www.itochu-cable.co.jp/>

◆富士フィルム

4K 対応の放送用レンズ「UA シリーズ」に新たに欄アップされるポータブルズームレンズ「FUJINON UA18×5.5」と「FUJINON UA14×4.5」、27 倍のスタジオズームレンズ「FUJINON UA27×6.5」の 3 機種を NAB SHOW 2017 に出展した。これらの製品はどれもズーム全域で 4K 対応の高い光学性能を実現、9 枚絞り羽採用による自然なボケ味を実現している。

「FUJINON UA18×5.5」

質量約 2.04kg の小型・軽量化を実現した 4K 対応のズームレンズ。広角 5.5mm から望遠 100mm までの焦点距離を 1 本でカバー。最短撮影距離 0.4m での撮影が可能。

FUJINON UA14×4.5

全長 238.5mm の小型ボディを実現した 4K 対応のワイドズームレンズ。超広角 4.5mm の焦点距離を活かし、スポーツ中継や各種番組制作のロケなどで奥行きのある臨場感溢れる 4K 映像を撮影することが可能。さらに最短 0.3m までの近接撮影ができる。

FUJINON UA27×6.5

広角 6.5mm から望遠 180mm を実現した 27 倍レンズ。ニュースやバラエティ、音楽制作などのスタジオ撮影に最適。さらに、会場全体を映すコンサート・ライブ中継など、多彩な撮影シーンで高精細な 4K 画質を実現する。最大口径比「F1.5」の大口径レンズを搭載。ズームやフォーカスの位置情報などのレンズデータを高分解能で出力できる 16bit エンコーダーを標準装備。

【問い合わせ先】

富士フィルム株式会社
 光学・電子映像事業部営業グループ
 TEL:048-668-2143

◆アイティアアクセス

同社取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。

■ Interra Systems : ストリーミングメディアワークフローの QC & モニタリング製品

- ・Baton : ファイルベースワークフロー向け次世代型ハイブリッド QC ツール、自動 QC & マニュアル QC 検査を組み合わせたハイブリッド QC プラットフォーム、業界で最も総合的な品質検査機能、高パフォーマンス、エンタープライズ拡張性、MAM/DAM/ トランスコード/ ワークフローソリューションとの簡単統合、クラウド QC 対応
- ・Orion OTT : OTT ワークフロー向けコンテンツ監視製品、ライブサービスや VOD 資産の 24/7 コンテンツモニタリング、QoS と QoE を監視するためのソフトウェアベースのソリューション、パッケージ整合性、ABR 適合性、オーディオビデオ品質検査、オリジンサーバのパフォーマンス関連問題のデバッグ補助、幅広いフォーマットと DRM 対応、エンタープライズの拡張性と一元集中管理
- ・Orion : リアルタイムコンテンツ監視製品、リアルタイムコンテンツモニタリング用の唯一の仮想化対応可能なプラットフォーム、包括的な HEVC と 4K ビデオ品質モニタリング、全監視ポイントの集中ビューと制御、問題検出、解像度、規格適合性のパワフルツール、徹底したビデオ/ オーディオ品質検査、アドインサージョン (SCTE-35) 検証
- ・Vega : 規格準拠、デバッグ、互換性のためのメディアアナライザ、規格準拠とデバッグ用に最も信頼されたプラットフォーム、フレーム毎の解析とエラーレポート、ビデオ比較と HEVC/ABR/4K/UHD ストリームの品質検査、優れた性能のためのマルチコア対応

■ Keepix : ライブ OTT TV 向け高画質エンコーダ及びパッケージ

- ・将来のニーズに備えた 1U UHD ソフトウェアエンコーダでの高画質なライブエンコーディングデモ
- ・OTT TV 向けにビット量を節約した新しい CABR レートコントロール技術の紹介
- ・Yospace とのダイナミックアドインサージョンのオフラインデモ
- ・CMAF のオフラインデモ
- ・アドシグナリング、HLS、DAH、新興の CMAF 規格など OTT TV パッケージ機能の全タイプに対応した Genova エンコーダのご紹介
- ・ライブモザイクジェネレータデモ

■ NexGuard : コンテンツ保護用電子透かしの紹介

- ・劇場公開前コンテンツ向け法廷電子透かし : 一対多数の中間ファイル配信を保護するための NexGuard の最新ファイル配信製品
- ・OTT ストリーミングでセットトップボックスに配信されたアーリーリリースコンテンツ向け法廷電子透かし
- ・ライブスポーツ向けコンテンツ保護 : 受信契約者毎の電子透かし挿入、海賊行為モニタリングサービス、悪徳契約者の特定と対策オプション
- ・姉妹会社 NAGRA からの反海賊行為のインテリジェンスポータルでのデモ : NAGRA が IPTV の海賊行為をどのように追跡するのか、海賊行為の機器、不正に再配布されたコンテンツを削除し、急成長する海賊行為に対する訴訟をサポートする。

【問い合わせ先】

アイティアアクセス株式会社 <http://www.itaccess.co.jp/>

◆スネル・アドバンスト・メディア



ポストプロダクションや放送システムの運用およびビジネスニーズの変化に対応するために IP への移行、12G への対応、ソフトウェア・アプリケーション、4K および HDR での業界でリードしている先駆的な技術による業務効率改善を提案した。(主要テーマは以下のとおり)

- ・オンライン編集・カラー&フィニッシングのRioの最新ソリューション
- ・UHDライブスポーツの最速プロダクション/リプレイソリューション
- ・市場をリードするIPおよびSDIソリューション
- ・包括的な監視制限ソリューション
- ・最速で柔軟性のあるマルチフォーマットソリューション
- ・信頼性のあるプレイアウトと配信ソリューション
- ・幅広い12G対応製品とソリューション
- ・エントリーレベルのパッケージソリューション

【問い合わせ先】

スネル・アドバンスト・メディア株式会社
TEL:03-3400-5711

◆DPSJ

同社取り扱いメーカー各社では以下の製品を出品した。

■Wowza Media Systems

「Wowza Streaming Engine」:あらゆるデバイスにライブ&オンデマンドストリーミング配信。

■THEOplayer

「THEOplayer」:プラグイン不要。HLS再生を実現する唯一のHTML5ベース動画プレイヤー。

■Telestream

「Vidchecker」:ライトに始められるファイルQCソリューション。送出&配信前のファイルベースビデオのチェックに。

■Magewell

「Pro / USB Capture Family」:高品質・多機能・リーズナブルなキャプチャ拡張カードとポータブルUSBデバイス。

■Imagine Communications

「SelenioFlex Live」, 「SelenioFlex File」:プレミアムなコンテンツ

の配信のためのライブエンコーダ & トランスコーダ。マルチスクリーン OTT 配信に。

■Zixi

「Zixi Broadcaster」:ベストエフォートの IP ネットワークでも、放送クオリティの映像伝送を実現させる、QoS (Quality of Service) システム。

■DVEO

「MultiStreamer」:コスト対効果に優れた Linux ベース / オープンソース ベース・オリジンエンコーダ。

■Harmonic

「Ellipse 3000」「ProView 8100」:定番のコントリビューションエンコーダ & デコーダ。QoS ソリューションのZixiにも対応。

■EVS Media

「OpenCube HD/SD」:テーブルワークフローを合理化するEVS MXF サーバー。インジェスト、レビュー、プリント to テープに。

■Quicklink

「The Quicklink TX」:Microsoft 社とのパートナーシップの基にデザインされた専用 Skype コール・レシーバー。

■General Dynamics Mediaware

「InStream」:MPEG ストリームをロスレスかつフレーム精度で継ぎ合わせ (広告挿入等)、送出可能なサーバー。HEVC にも対応。

【問い合わせ先】

日本デジタル・プロセッシング・システムズ株式会社
<http://www.dpsj.co.jp/>

◆エレメンタルテクノロジーズ

米Amazon Web Services (AWS) とAWS 傘下の米Elemental Technologies (エレメンタル) の共同ブースでは、放送とマルチスクリーンコンテンツ配信システムの効率化および新たな収益化を生む、オンプレミスおよびクラウドベースの様々な映像配信ソリューションを紹介した。

4K/HDR10/HLG コンテンツ処理、HDR10/HLG チャンネルプレイアウト、さらにAWS エレメンタルのクラウド映像処理ソリューションを活用した、ベースバンド入力とファイルベース入力間のシームレスな切り替えができる番組自動放送システム (APC) を組み込んだシステムフロー、オンプレミスおよびクラウドによるライブチャンネルプレイアウトやサーバーサイドのダイナミック広告挿入、フレーム精度のLive to VOD フロー、加えてマルチスクリーンビデオの配信を最適化する映像配信プラットフォーム「Elemental Delta」によるAmazon S3 に格納された大容量アセットVOD コンテンツのライブ管理・配信フローがブース内の各コーナーで紹介された。また新製品に、Elemental Live のコンパクト1 チャンネルエンコーダーシリーズが発表された。

4月26日に開催されたテクノロジースーパーセッション「Reaching for the Stars: Connecting to the Future with NASA and Hollywood」では、パネリストとして登壇、世界初として国際宇宙

テーションからの4K映像をライブストリーミングし、会場と国際宇宙ステーション(ISS)をつなぎ、ISSに滞在する宇宙飛行士にインタビューを行った。

【問い合わせ先】

エレメンタルテクノロジーズ

<https://www.elementaltechnologies.co.jp/>

◆SCAサウンドソリューションズ

SCAサウンドソリューションズの取り扱いメーカーは以下の物がNAB SHOWに出展した。

■ Telos Alliance

Telos:テレホンハイブリッド、IPコーデック等

AXIA:放送局用デジタルオーディオコンソール AES67、Livewire+準拠

Omnia:AM/FM放送用オーディオプロセッサ、ファイルベースオーディオプロセッサ

Fusion:世界でコンソール7,000台以上の導入実績のあるAXIA社の最新IPオーディオコンソール

■ Digigram

マルチチャンネルオーディオIPコーデックとして「IQOYA X/LINK」をNABで初出展。最大8ステレオch対応、各chごとに異なる音声モード、音声フォーマットでの送信が可能。その他IPコーデック、PC用オーディオカード等を紹介。

■ ENCO

「DAD (Digital Audio Delivery)」

ネットワークを使用して音声を届けるデジタルオーディオシステム

■ novonics

FM/AM放送監視チューナー等

1UハーフサイズのFM用オーディオプロセッサ「NOVIA 272」をNABで初出展。

■ ESE

GPSマスター時計、各種タイムコード関連製品

■ Sierra Automated Systems

インカム、TV中継車、地デジ音声設備等で納入実績のあるオーディオルーターティングシステム

■ BW Broadcast

FM送信機等

■ Wheatstone

テレビ及びラジオ局向けブロードキャストオーディオコンソール。フルデジタルオーディオコンソールの最新モデル「Dimension Three」をNABで初出展。

【問い合わせ先】

株式会社エス・シー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社

<http://ss.sc-a.jp/>

◆テクトロニクス

業界が次世代技術に移行するワークフローを支援するためのコンテンツ品質、シグナル・インテグリティ、規格適合性を保証するエンドツーエンド・ソリューションを展示した。

ライブ IP ビデオ制作

放送業界はSDIのインフラストラクチャからオールIPのインフラストラクチャへと移行している。同社の「PRISM」を使用することで、放送局のエンジニア、ITプロフェッショナルはIPストリームと関連のコンテンツをリアルタイムにモニタリングし解析できるため、間欠的なビデオ、音声、データ・コンテンツの喪失を含む、ネットワークまたはコンテンツ問題を早期に検出し、診断することが可能になる。PTP同期タイミングの解析、SMPTE ST 2022-7の冗長サポート、IGMP V3とAPIサポートによるネットワーク管理システムへの統合、IPストリーム・キャプチャによる詳細解析など、新しい機能強化が展示された。

4K/UHD、HDR コンテンツ

同社の4K HDR波形モニタ「WFM8000シリーズ」は、中継車またはスタジオ・アプリケーションのコンテンツ取込みからポストプロダクションのアプリケーションにおけるカラー・グレーディングまで、4K HDRコンテンツをリアルな視聴体験のイメージを追及しながら制作できる。新しいHDR機能は、使用中の「WFM/WVR8000シリーズ」製品に追加可能。

ライブ、オンデマンド ABR コンテンツ

同社の「Sentry ABR」とAuroraファイルベースQCソリューションは、視聴者のQoE（ユーザ体感品質）に影響を及ぼすビデオ圧縮障害検出のために設計された、知覚ビデオ品質（PVQ）測定が行える。PVQ測定に加え、「Sentry ABR」は、エンクリプションおよびエンクリプションされていないコンテンツ両方のオリジン、またはキャッシュ・サーバからすべてのプロファイルのライブ・ビデオ／オーディオのデクリプションとデコードをすることで、エンドツーエンドのQoEを観測できる。

データ重視型の効率性改善

同社の「Sentry」は、複数の番組を同時にリアルタイムにモニタリングできる、スケーラブルなモニタリング／レポート・ソリューション。オペレータ、エンジニア、シニア・グループ管理者は、「Sentry」が提供する90日間の詳細な運用データと関連情報を利用することにより、オペレーションとネットワーク性能を理解した決定を下すことができる。

<技術展示>

この他にコンテンツ制作から配信までの、スケーラブルでエンドツーエンドのピクチャ・クオリティMOSスコアリング、AWSのクラウド・ワークフローである「Sentry」モニタリングによるクラウド・ワークフローのモニタリング機能、DIインタフェースによるアイ・パターン測定なども展示した。

【問い合わせ先】

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL:0120-441-046 FAX:0120-046-011

◆ジャパンマテリアル

同社取り扱いメーカーの各社では以下の製品を出品した。

■ Matrox

文教・医療用途向けH.264エンコーダー「Matrox Monarch LCS」：高解像度 HD ライブ映像と PC のプレゼンテーションデータを同時に取り込んでP in P やSide by Sideなどで合成し、H.264 で配信・録画が可能

■ VRi

4K 対応リアルタイム3D キャラクタージェネレーター「KarismaCG 4K」：レンズ、砂、水、金属などの質感をリアルに再現でき、光源や配置なども直感的に編集可能。カメラアニメーションなどの高度な編集も簡単に操作でき、3D 空間をフルに生かしたダイナミックな動きを実現できる。

■ そのほか、関連する下記の製品も出展

- ・放送用グラフィックスアプリケーション開発ツールキット「Karisma CG SDK」
- ・ホームショッピングとウェザーコーダー「KarismaCG Solutions」
- ・リアルタイム 2D キャラクタージェネレーター「VisualCG」

【問い合わせ先】

ジャパンマテリアル株式会社
<http://www.j-material.jp/>

◆アスク

同社取り扱いメーカーの各社では以下の製品を出品した。

■ Scale Logic

共有ストレージ、オブジェクトストレージ、ハイブリッドクラウドストレージをメディアワークフロー用に最適化する専門技術を紹介した。

- ・「Genesis Unlimited SAN アプライアンス」
- ・「Genesis NX」
- ・「Genesis HyperMDC」

重要なメタデータに要求される高パフォーマンスのハイアベイラビリティを実現する。

- ・「HyperFS」
ワークフロー全体を制御する。

■ Square Box Systems

新しいプラットフォーム、環境、OS への対応を含んだ、デジタルアセットマネジメントとメディアアセットマネジメントソリューション向けに開発された次世代の製品群の最新バージョンを出展した。同社のフラグシップ製品「CatDV」は、メディアアセットマネジメントの作業を高速化し、中小企業から大企業まで、その組織が所有する数百万のアセットの再利用や収益化を簡単且つ効率的に行う。

「CatDV Enterprise Server 7」が Web 2.2 に対応

ライブローガー、フレーム単位の正確さで行えるビデオプレイバック、動的なサブクリップのトリミングやダウンロード、クリップのグループ共有といった新機能を搭載。更に、新しくなった CatDV Web 2.2 は派

生する値が有効な形で見えるようになっており、色分けされたメタデータがハイライトされる。組織化ツールにも、カタログの作成とリネーム、アセットの移動、新しいドラッグアンドドロップといった機能の追加がされた。また、新しくなったProfessional Web Client は、ソースやレコードのラフカットエディター、フルスクリーンユーザーインターフェイスをServer 7にインストールされたオプションを反映して利用できる。その他の特長としては、ウェブベースのシステム管理、管理者向けのREST API、より強力になった通知機能、より多くのカスタマーがいる環境への対応、集中化されたパスマッピング、より効率的になった検索ツール、ユーザ毎に自在にカスタマイズできるインターフェイスといった多くの重要な改善が含まれる。

「Worker 7」

CatDV MAM環境のための強力な新しいワークフロー自動化ソリューション。WindowsとMacの環境に加え、Linuxがサポートされた。

「CatDV 12」

MAM システムの最新版。最新のServer 7をネイティブサポートし、音声ファイルへの対応が強化され、高度な波形ディスプレイ、VU メーター、そして、より多くのオーディオトラックを利用できるようになった。システムのロギングとインジェスト能力が更新され、同システムは専門的なビデオプレイヤーとして独立して操作できるようになった。最新の放送フォーマットやカメラフォーマットをサポートする 64-bit アーキテクチャーと強力なプレイバックエンジンを備えている。

「Pegasus Server」

数百万のアセットを横断する超高速な Google 型の検索が行える。Oracle と Microsoft SQL Server のデータベースに対応している。

S3 への対応：「CatDV Archive to Cloud」

CatDV Archive to Cloud がメディアアセットをアーカイブし、Amazon S3、SpectraLogic Black Pearl、IBM Cleversafe、そして Microsoft Azure といった様々な S3 ベースのパートナーのクラウドにメタデータを関連付けるところを実演した。

【問い合わせ先】

株式会社アスク
<https://www.ask-media.jp/>

◆ソニー

これまでの枠組みを超えて映像ビジネスの可能性を追求するチャレンジの意志を込めた「Beyond Definition」をテーマに 4K 映像やハイダイナミックレンジ、IP ライブ伝送などに対応した次世代放送を見据えた新製品を展示し、高画質かつ高効率な映像制作ソリューションを幅広く提案した。

HDR映像を、高画質かつ効率的に制作する新しいソリューションの提案

同社は昨秋以降、スポーツライブ中継などの映像制作領域で、4K HDR の高画質な映像を高効率に制作するソリューション「SR Live for HDR」を推進し、対応機器を広げている。制作フォーマット＜4K-HDR S-Log3/BT.2020＞を用いることで、シンプルなシステム



構成でカメラ性能を最大限に生かし、4K HDR 映像と HD SDR 映像の同時ライブ制作を実現している。今年の NAB ではこの 4K HDR 映像制作ソリューションに加えて HD 画質での HDR 映像制作ソリューションを新たに導入し、また、制作にかかる時間を短縮して HDR 映像制作を実現するインスタント HDR ワークフローも新たに提案した。

ライブ HDR コンテンツの裾野を広げる HD 映像制作対応 ～機器アップデートにより実現～

スポーツ中継などのライブ制作分野では、カメラシステムからサーバー、モニターに至るまで、4K 映像制作機器のアップデートにより、HD による HDR 映像制作にも対応。順次今夏までにアップデート対応される。主に、4K 放送実用開始に時間がかかることが想定される地域に向けて提案された。同アップデート対応により、スタジオや中継車の制作システムをコンパクトな HD モニター等と混在して運用できるため、4K HDR 制作環境の省スペース化を図るソリューションとしても提案された。

HDR 映像制作の時間短縮を実現するソリューション 「インスタント HDR ワークフロー」

民生テレビの HDR 対応の広がりを受け、インターネットコンテンツやプロモーション、イベント映像などの制作現場でも、HDR 映像への期待が高まっている。これらの分野ではポストプロダクションに時間をかけず、撮影した映像をすぐに HDR 映像として活用したいニーズがある。

これらの市場に向けて、時間をかけずに HDR 映像表現を実現するソリューションとしてインスタント HDR ワークフローを導入する。XDCAM メモリーカムコーダー「PXW-Z150」と「PXW-FS5」のソフトウェアアップデート（無償）により、新たに Hybrid Log-Gamma (HLG) 収録を実現する。これにより、撮影後のカラーグレーディングなどの編集作業に時間をかけず、手軽に HDR 対応テレビやモニターで HDR コンテンツを楽しめる。2017 年 7 月にアップデート対応される。

映画・CM・ドラマ制作分野での HDR 制作周辺機器を拡充し、 運用の効率化を推進

映画・CM・ドラマなどの制作分野においては、高い階調性をもつ 16bit シーンリニアデータを効率的なデータサイズで制作、運用でき

るソリューションとして、同社独自開発の記録フォーマット X-OCN (eXtended tonal range Original Camera Negative) を導入し、CineAlta 4K カメラ「PMW-F55」での運用を提案している。NAB SHOW ではワークフローの効率化を一層サポートする周辺機器として、AXS メモリーカードリー

ダー「AXS-AR1」や有機 EL ビューファインダー「DVF-EL200」を発表した。ブースでは、HDR コンテンツの X-OCN フォーマットでの制作ワークフローを紹介しながら、これら新商品を展示した。

IP ベースのシステム普及と推進

同社は、IP を活用して、制作システム全体の運用効率化と高付加価値の映像制作を実現するソリューション「IP Live Production System」を推進し、対応機器を拡充している。システムの IP 化により、4K でインフラを構築する際、コストやスペース、重量などをスリム化できる他、機材の共同使用（リソースシェア）、遠隔地からの機器操作や映像モニタリング（リモートプロダクション）ができる。

こうした運用の柔軟性に期待が高まり、国内外で、同社のシステム採用の動きが進んでいる。今年 1 月には、イギリス BBC Studioworks の制作スタジオのリニューアルにあたり、同社の IP Live Production System の導入が決まった。中国では、アリババグループの動画制作会社 4K Garden から同社が 4K IP 中継車を受注し、また、国営テレビ局中国中央電視台に向けて、今後構築予定の 4K IP 中継車に同社の機材が採用された。日本では、スカパー JSAT 株式会社が IP ルーティングシステムを導入した。

今年の NAB では、同社ブースとカリフォルニア州カルバーシティにあるソニー・ピクチャーズ エンタテインメントの制作スタジオを IP インフラでつなぎ、リモートプロダクションを体感できるデモが実施された。

映像制作の効率的なシステム運用や映像アーカイブソリューションの提案

同社は、柔軟な映像制作システムの運用をサポートすべく、クラウドを活用するソリューションやメディア変換サービスを提案している。今年の NAB では、取材カムコーダーと連携をするクラウドサービス「XDCAM Air」、ゴールライン判定やマルチカメラ映像を収録しコーチングなどに使用できる「HAWK-EYE」など、メディアサービスビジネスの展示を行った。また、映像アーカイブソリューションとして光ディスクの技術と信頼性を継承したオプティカルディスク・アーカイブ第 2 世代を中心に展示し、映像の大容量化やテープ資産のファイル化に備えた様々な用途で提案した。

新製品 高感度業務用 4K 対応ビデオカメラ「UMC-S3CA」

昨年発売した超高感度小型業務用 4K 対応ビデオカメラ「UMC-S3C」に、新たに複数台カメラの同時運用や外部同期を可能とする機能を加えた新機種「UMC-S3CA」を発売する。多地点からの同時撮影やライブ制作システム等への組み込みも容易で、VR 映像制作にも活用でき、多目的の用途で活用できる。ブースでは本商品で撮影した VR コンテンツやマルチアングルの撮影実例も展示された。

【問い合わせ先】

ソニー株式会社 <http://www.sony.jp/>